

9 / 18 校長室より 97

「見えにくい”いじめ”」はあっても
「見えない”いじめ”」はないと思っています。

必ず、誰かが見えています。

必ず、誰かが知っています。

大切なのは、

その人がそれを見て、それを知って
どう行動しているのかということです。

見た時、知った時、

何かしら自分にできることがあるはずなのに、
その『自分の役割』を果たそうとしないことで
いじめがはびこるのです。

「わたし」に、

いま行動できることは本当にはないのでしょうか。